



「2017女性建築士の集い  
in ニセコ」に参加して

荻野 美加 (旭川支部)

今回はニセコの有名建築とラグジュアリーな空間を巡るバスツアーという趣旨で、素敵な建築とニセコの美味しい食べ物に目もお腹も大満足したツアーでした。

10月1日早朝にJRニセコ駅に隣接してあるニセコ倉庫群(旧でんぷん工場)に集合しました。このニセコ倉庫群は、大正から昭和にかけて使われていたでんぷん工場や石造倉庫が立ち並んでおり、近年その役割を終え空き倉庫となっていました。再活用事業により現在はカフェ、イベントやコンサート、講演会などができる施設としてニセコ市民や観光客に利用されているそうです。また、梁には当時でんぷんを作る際に使っていた、とても大きなふるいとそれに連動して動く滑車が乗っており、歴史を尊重しつつも現代に合った使い方ができる建物となっており勉強になりました。

次に倉本龍彦氏設計の“ばあちゃん家”に向かいました。それは人参畑に囲まれた中にぽつんとあり、建物は地面に斜めに突き刺さっているかの様な変わった形でしたが、不思議と周りに馴染みつつそこにありました。家は45年経った今でも改修を重ねきれいな状態を保たれており驚きました。2階のバルコニーは日差しが入り込み、直に風や雨が当たらないようになっており、厳寒時以外はそこでお茶などが楽しめそうで、私は非常に気に入りました。また、室

内はレンガや木、左官などの温かみのある仕上げと北欧家具が上品にレイアウトされていて、夫婦2人で過ごすにはちょうど良いサイズ感でした。この建物を見学して、豊かな大地に佇む素朴な形と日光を上手に取り入れ、寒い外から帰ってきたら温かみのあるこの室内空間に迎えられることで、長い冬も豊かに暮らせる北海道らしい建築の形だと思いました。

次にヒラフ別荘群を散策しました。現代的な建物が立ち並んでおり、まるで外国にいるようでした。

そして、お昼は“ヴィラルピシア”に向かいました。このレストランは、古谷誠章氏の設計で目の前に羊蹄山が広がる好立地にあり、外壁の多数の開口から昼間は太陽光を取り入れ、夜は照明の光が漏れ、国道からもよく映える建物でした。そしてなんといっても食事が最高で、ニセコで生まれた甘くて新鮮な野菜、メインディッシュそしてデザートまで完璧で素晴らしい食事に大満足しました。

今回の集いで、こんな所でお酒を飲んだら楽しいだろうなあと自然と想像させられる建物に出会い、私もこんな設計ができるようにもっと精進していきたいなと元気を頂きました。



“ばあちゃん家”と参加者たち

「博物館 網走監獄」見学会

2017年6月24日(土)

岡沢 奈恵 (北見支部)

女性委員会道東Bブロックでは、博物館網走監獄を見学しました。

この博物館は明治時代の古建築物である旧網走刑務所を移築保存して公開した野外歴史博物館です。開館は昭和58年で、平成22年全面リニューアルを経て現在に至っています。今回の見学にあたりヘリテージマネージャーの副館長より建物を維持保存し公開するための活動など講義していただきました。その後ガイドツアーで建物や刑務所の歴史を見て回りました。



見学会参加者

中央見張所とそこを中心に五つの舎房が放射状に建つ建物や庁舎など重要文化財と登録文化財、更に当時の刑務所を再現したものがありません。リニューアルしてからの体験型展示も面白く、シアターがあったり、囚人の気分を味わえる監獄食を食べることができたり、いろいろな視点から楽しんで歴史に触れることができました。私が感じた一番は、あの有名な脱獄シーンが再現された囚人の人形を発見した時の子供のリアクションと牢屋の扉をドキドキしながら開けて囚人がいた時に悲鳴を上げてよろこぶ姿は、母になった私と息子で、昔も今も変わらないことに嬉しく思いました。そして、子供の頃単純な好奇心で見ていたものを、大人になって違う見かたで触れることができることは、建物を大切に守っている人達がいることだと感謝できた見学会でした。